

## 平成 26 年度ニホンジカ個体数の保護管理実施計画（案）

平成 25（2013）年度の糞粒調査結果より、緊急対策地区では 6.9 頭/km<sup>2</sup>、有効捕獲面積を考慮した地域（緊急対策地区を含む）は 9.5 頭/km<sup>2</sup> となり、昨年度に比べて、個体数が増加している。また、ピーク時に比べると生息密度は低減しているが、森林植生に顕著な回復を確認するに至っていない。

そのため、引き続き以下の対策、調査を実施する。

## 【実施項目】

## (1) 個体数調整

装薬銃、くくりわなを用いた個体数調整の実施（捕獲目標頭数：93～120 頭）。

特に、推定生息密度の高い箇所について捕獲個体の搬出方法等を検討しつつ捕獲圧を高める。

## (2) 植生保全対策

植生保全対策のため、以下の対策を実施する。

- 区域保全対策（防鹿柵）
- 単木保護対策（剥皮防止用ネット）

## (3) 生息環境の整備

大台ヶ原・大杉谷周辺地域におけるニホンジカ保護管理に関する関係機関の情報共有と、より広域的な視点での保護管理に向けた取組をすすめることを目的として、「大台ヶ原・大杉谷ニホンジカ保護管理連絡会議」を開催する。

## (4) モニタリング調査

目標の達成状況を把握するため、以下の調査を実施する。

○植生状況調査

- 下層植生調査

○生息状況調査

- 糞粒調査
- ライトセンサス調査
- GPS テレメトリー調査
- 繁殖・栄養状態に関する調査
- カメラトラップ調査